



2004

東海高等學校



個性いろいろ。自由と自立が僕らの自慢です。



自

由



勉強だけじゃない、“自分の生き方探し”の3年間

“東海高校の生徒”というと、皆さんどんな男の子を思い浮かべますか。

おそらく“ガリ勉タイプ”を連想する人が多いのではないのでしょうか？

しかし、それだけではありません。

ご覧の通り、実際の東海生は実に様々、わが道を行く個性派揃いなのです。

どうして、こんなにノビノビしているのかって？

それは、東海100年の歴史の中で培われた「自由と自立」の気風があるからです。

主役はあくまで生徒。何事も自分の頭で考え、自主的に行動できる力を培うこと、

そして三綱領に基づき、信念と誠実さを大切にすること、

これが高校3年間で最も大切なことであると、東海高校では考えています。

教育目標

本校が大学進学において、高い実績をあげていることは広く認められております。しかし、三綱領に基づき、宗教的信念を持った他の人々の痛みを知ることのできる、豊かな感性を持った人間教育を行っていることは案外知られておりません。単なる物知りをつくるのではなく、複雑な現代社会に対処していける問題解決能力を持ち、世界に通用する人物を育てることを目指しております。

三綱領

1. 明照殿を敬い、信念ある人となりましょう。
2. 勤儉誠実の校風を尊重して、よい個性を養いましょう。
3. 平和日本の有要な社会人となりましょう。



理事長・学園長
村瀬 忠雄



中学校長・高等学校長
松濤 一乗

【本校の歩み】

- 1868(明治21)年 浄土宗教師学校設立認可を受ける
- 1909(明治42)年 私立東海中学校設立認可を受ける
- 1913(大正2)年 第二代校長椎尾弁匡就任
明照殿竣工・勤儉誠実の校風樹立
- 1947(昭和22)年 新制東海中学校発足
- 1948(昭和23)年 新制東海高等学校認可を受ける
- 1950(昭和25)年 学園長に椎尾弁匡、東海高校長に林雲法、東海中学校長に村瀬亮音が就任
- 1958(昭和33)年 創立70周年記念式典
- 1962(昭和37)年 東海女子高等学校開校
- 1964(昭和39)年 東海学園女子短期大学開学
- 1972(昭和47)年 創立記念事業として9コースプール完成
- 1973(昭和48)年 創立85周年記念式典
- 1974(昭和49)年 総合体育館完成
- 1978(昭和53)年 創立90周年記念式典
- 1979(昭和54)年 特別教室等を完備した本館完成
- 1988(昭和63)年 創立100周年記念式典
「百志館」完成
- 1995(平成7)年 東海学園大学開学
(経営学部経営学科)
- 2000(平成12)年 東海学園大学に人文学部人文
学科開設
- 東海女子高等学校が東海学園
高等学校と名称変更し男女共学に
- 2001(平成13)年 高校新校舎完成(冷暖房完備)

STUDY

学習

カリキュラムについて

本校は独自のカリキュラムに基づいた授業を行っています。特に英語・数学には力を入れ、理科・社会・国語についても万全の基礎作りと演習を行っています。高校2年からは進路に応じたきめ細かな授業を展開し、極力希望の科目が選択しやすい体制をとっています。また、様々な角度から実力をつけるためリスニング授業や小論文試験なども実施しています。

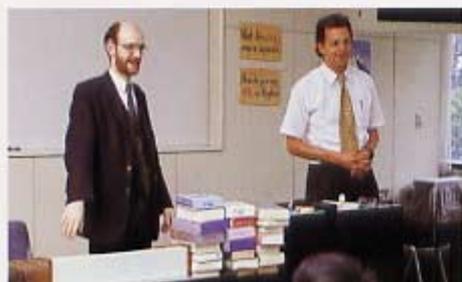
補充授業

東海中学校では、公立中学より多少進度が早く、内容も深く学習してきました。高校から入学するキミたちのためには、補充授業を行うなどの配慮をしています。日常の学習習慣があればすぐに追いつくことができ、さらに大きく飛躍することができるでしょう。



冬期特別授業

大学入試センター試験後の1月後半～2月に開かれる3年生対象の講習です。英語・数学・理科・社会・国語に加えて小論文講座も行われます。1講座 1時間半の集中講義で、最後の追い込みを先生たちが全面的にバックアップします。



外国人授業

英語教育に力を入れており、高1と高2では全クラスを2つに分け、オックスフォード大学出身の外国人教員たちによるコミュニケーションを重視した授業を実施。また、高3でも大学受験用のリスニングや、日本語に精通した外国人ならではの英作文授業を行っています。

変化の時代。
学びたいこと、
たくさんあります。



大きな学びの場「サタデiprogram」

平成14年度から完全週5日制を行っていますが、休業土曜日は大きな学びの機会と考え、生徒も講座をプロデュースできる「サタデiprogram」を実施しています(6月、2月)。毎回40近い講座にのべ2500人の生徒、家族、同窓、市民が参加し、各界で活躍されている方々から積極的に学んでいます。



新校舎完成

平成13年度に新校舎が完成し、平成15年度には食堂がリニューアルしました。引き続き、隣接する中学の校舎も含めて建て替えを進め、さらに学びやすい学習環境を整えています。



◀食堂

CLUBS

クラブ活動

目標に向かって
とことん打ち込めば、
大切な何かが
見つかるはず…。



「健全な肉体に、健全な精神が宿る」これ真実なり!

SPORT

体育部

野球部・バスケット部・テニス部・バレーボール部・サッカー部・卓球部・水泳部・陸上競技部・山岳部・柔道部・剣道部・弓道部・馬術部・アーチェリー部・ハンドボール部・バドミントン部・ラグビー部・スキー部

同好会

アメリカンフットボール・ワンダーフォーゲル・ボート・サイクリング・ボウリング

クラブ実績

- 柔道部/全国大会に通算37回出場。うち団体優勝1回、2位1回、3位4回。個人優勝2回、2位1回、3位2回。国体・全国高校選手権大会に出場。
- 剣道部/全国大会に通算13回出場。国体に8回出場。
- テニス部/昭和28年より全国大会に通算40回出場。優勝2回、2位5回、3位18回。昭和54年第1回全国高校選抜大会で第3位、以後14回出場。
- 弓道部/全国大会6回出場。うち準優勝1回。全国高校選抜大会3回、国体2回出場。
- バドミントン部/昭和57年の団体第5位を最高に、全国大会に通算15回出場。最近では平成9年団体出場。



個性派揃いの先輩たちが、キミの入部を待っています!

CULTURE

学芸部

文芸部・演劇部・映画研究部・弁論部・新聞部・社会研究部(歴史班・思想班)・音楽部(合唱団・オーケストラ)・バス/ハンド部・書道部・美術部・生物部・地学部(地質班・天文班)・電波科学研究部(ハム班・マイコン班)・図書部・宗教研究部・写真部・郵便友の会(PFC)・英語研究部(ESS)・将棋部・漫画研究部・放送委員会

同好会

JRC・鉄道研究同好会・第2外国語研究同好会・SF同好会・模型同好会・釣同好会

クラブ実績

- 将棋部/現在、18年連続全国大会出場中。昭和49年、平成元年、9年には団体戦全国優勝。準優勝2回、3位2回。平成12年個人戦全国優勝。平成15年西日本学生将棋大会団体戦優勝。
- 放送部/昭和36年~平成4年、NHK杯全国高校放送コンテスト、全国大会に連続出場。うち優勝1回、準優勝1回、3位5回。民放全国高校放送コンクール最優秀賞1回。
- ESS(ディベート)/全国中学高校ディベート選手権(ディベート甲子園)平成10年・11年連続優勝、準優勝1回、3位1回。東海地区高校生ディベート大会優勝6回、準優勝1回。



主将からのメッセージ

「礼に始まり礼に終わる」
剣道は精神を鍛えるスポーツです



剣道部主将
山田 義宜

剣道は、身体を鍛えるスポーツの要素と、心を鍛える武道の要素を持っています。その中でも、「礼に始まり礼に終わる」という言葉から分かるように、武道精神の要素を重視しています。日々の稽古でも、技や試合での技術を練習し、且つ常に1試合、1本に対する集中力、最後まで諦めない粘り強さを養います。そして、稽古で養ったそれらのものは、試合だけに限らず、将来の自分自身の中で大きな意味を持つものであると感じています。

部長からのメッセージ

部員は将棋が好きの人ばかり。仲間に負けたくない気持ちが強さの秘訣です



将棋部部長
来栖 寛幸

誰でも将棋が強くなれます。私も中学1年当時は駒の動かし方が分かる程度で、他の同級生にもあまり勝てませんでした。しかし、強くなりたいという気持ちがあれば1年間で初段に、数年後には県大会で優勝して全国大会に参加できる棋力になれます。現在高校は団体戦、県大会で18年連続優勝して全国大会連続出場日本記録更新中です。また今年は大学生を中心としたオール学生西日本大会団体戦でも優勝しました。



SCHOOL EVENTS

年間行事

自由と自立の精神を育むために

15歳～18歳という人間形成期に、積極的に自分を作り上げることが、これからの時代を担う君たちにとってとても重要なことです。そのため本校では、誰もが自由な立場で考え行動できる記念祭をはじめとする様々な場を設けています。



全国高校弁論大会

- レクリエーション大会
- 推尾弁区杯・全国高校弁論大会 (本校主催)

本校伝統行事のひとつ。全国より毎年約20校が集い、それぞれの1年間の成果を競い合います。海部俊樹衆議院議員や神田真枝衆議院議員など政治の分野で活躍する諸先輩方も弁論部の出身です。

- 入学式
- 新入生歓迎会
- 美杉オリエンテーションキャンプ (高校からの入学者)

三重県美杉村の学園施設に一泊して、相互の懇親を深めるとともに、東海学園について学びます。

- ウエサカ (お釈迦様のまつり)
- 演劇鑑賞

- 美杉サマーキャンプ (1・2年希望者)

自然豊かな三重県美杉村で2泊3日の日程で行われます。早朝登山(大岡山)、水浴(雲出川)、焼杉組実習など各種レクリエーションを通して友人や先生との絆を深めます。



美杉サマーキャンプ



体育祭

- 創立記念祭(体育祭・文化祭)
- 「研究&仕事」紹介講座

体育祭と文化祭から成る創立記念祭。体育祭は、青少年公園を会場としてクラス単位でサッカー、ソフトボール、クラス対抗リレーなどで競い合います。本校のメインイベントとも言える文化祭は、各クラスや有志による演劇や出し物、音楽祭、講演会など多彩な企画で盛り上げます。中でもクラス企画・クラス演劇は記念祭の中心行事となっており、各クラスとも5月から準備を開始します。仲間と協力し、時には意見をぶつけ合いながらひとつのことを成し遂げた時、大きく成長した自分を発見することでしょう。

生徒会主催のこの行事は、各自が自分の将来についてしっかり考えることを目的として、11月または12月に行われるものです。OBや大学の先生など幅広い分野の人々を招き、職業感や生き方などについて様々な意見、体験談、アドバイスを伺います。主に1・2年生対象で、他校にはない本校独自の進路説明会ともいえる行事です。



- 修学旅行(2年) 遠足(1・3年生)

- 夏期休業



卒業授戒会

- 卒業授戒会 (仏式による成人式) (3年)

戒師(校長)のさとう五つの戒を心に刻み、各クラスの代表が法灯を「自らの灯」として掲げ前に捧げる「心の卒業式」です。厳かな雰囲気の中、一人ひとりがこれからの人生を悔いなく歩むことを誓います。

- スキー実習(1年希望者)



スキー実習



●御忌
(宗祖法然上人の御命日)

●卒業式



●奨学制度

- 創立100周年記念事業として、成績優秀者に対する奨学金制度を設けています。
- 公私立共通の日本育英会からの学費補助を受けることができます。
- 本校独自の生徒互助会があり、経済的事情に応じて授業料の半額の補助を受けることができます。ただし、日本育英会からの学費補助との併用の場合のみ。

●活躍するOBたち

3万人を越える同窓が、現在様々な分野で活躍しています。'99年文化勲章を受章された哲学者の梅原猛氏、政治家の海部俊樹氏、赤松広隆氏、神田真秋氏、松原武久氏、増岡錦也氏、医学界の日比野彦氏、実業界の岩田武夫氏、加藤武氏、安井義博氏、法曹界の高須宏夫氏、建築家の黒川紀章氏、ジャーナリストの木村太郎氏、数学のノーベル賞ともいわれるフィールズ賞を受賞された森重文氏など枚挙に暇がありません。



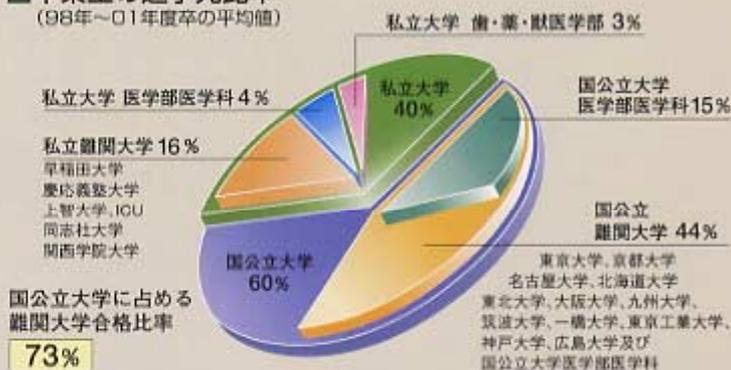
哲学者(文化勲章受章)
梅原 猛氏



ジャーナリスト
木村 太郎氏

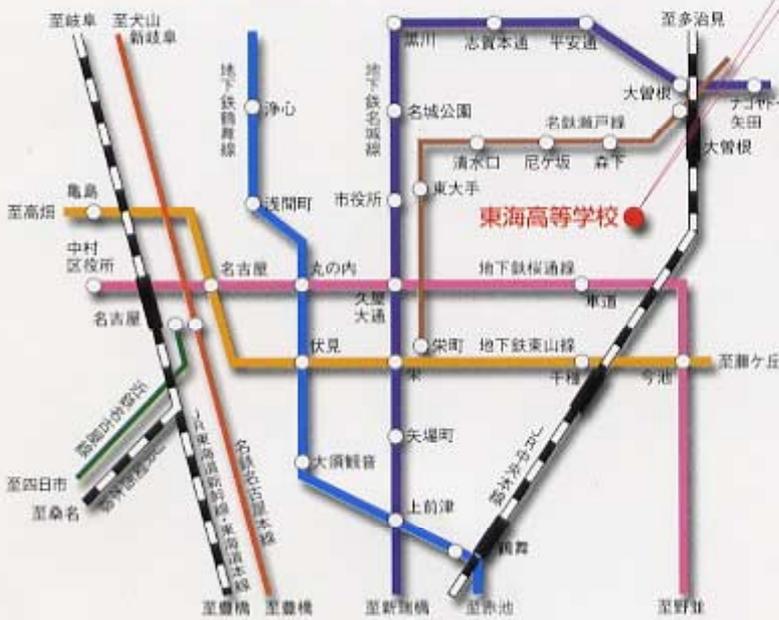
大学合格状況

■卒業生の進学先比率
(98年~01年度卒の平均値)



合格大学	入試年度	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年
北海道大学		8	10	8	13	6
東北大学		5	6	6	8	7
東京大学		29	24	31	37	26
一橋大学		9	6	2	8	5
東京工業大学		2	4	3	3	6
東京芸術大学		2	0	0	1	2
名古屋大学		66	60	31	38	49
岐阜大学		14	12	9	6	20
三重大学		10	6	4	5	4
京都大学		31	29	23	22	28
大阪大学		4	6	5	15	5
神戸大学		5	7	6	5	3
名古屋市立大学		27	18	20	21	20
早稲田大学		84	83	79	94	87
慶応義塾大学		76	82	47	69	59
中央大学		21	31	10	22	23
明治大学		24	23	19	15	26
上智大学		19	22	10	16	13
東京理科大学		44	27	24	25	28
南山大学		18	16	29	23	19
同志社大学		57	47	34	30	41
立命館大学		103	73	52	84	82
関西学院大学		18	21	7	13	8
関西大学		12	5	9	5	6
国立医学部合計		85	66	59	71	72
国立大学合計		288	254	207	273	238
私立大学合計		834	687	576	637	629

(国立医学部合計に防衛医科を含めた)



〈本校へのアクセス〉

- 市バス…………… 山口町下車〈徒歩7分〉
…………… 東区役所下車〈徒歩5分〉
- 基幹バス…………… 新出来下車〈徒歩4分〉
- 名鉄バス…………… 山口町下車〈徒歩7分〉
- JR中央本線……… 大曾根駅下車〈徒歩17分〉
- 地下鉄東山線… 千種駅下車
〈1番出口より徒歩15分〉
- 地下鉄桜通線… 車道駅下車
〈1番出口より徒歩10分〉
- 名鉄瀬戸線……… 森下駅下車〈徒歩12分〉



学校法人 東海学園

東海高等学校

名古屋市東区筒井一丁目2-35 〒461-0003
TEL052-936-5112
ホームページ www.tokai-jh.ed.jp/

東海中学校

名古屋市東区筒井一丁目2-35 〒461-0003
TEL052-936-5114

東海学園高等学校

(旧東海女子高等学校)

名古屋市天白区中平二丁目901番地 〒468-0014
TEL052-801-6222

東海学園大学

<名古屋キャンパス>
人文学部・短期大学部

名古屋市天白区中平二丁目901番地 〒468-8514
TEL052-801-1201

<三好キャンパス>
経営学部

愛知県西加茂郡三好町福谷西ノ洞21-233 〒470-0207
TEL05613-6-5555